

令和7年10月10日
中日新聞

野洲市水道料金

49%引き上げ案

事業運営委が方針

野洲市の2027～31年度の水道料金値上げについて審議している、有識者らによる市上下水道事業運営委員会は9日、上水道料金を現行から49%引き上げる案を軸に答申案をまとめる方針を確認した。早ければ年内にも答申する。

市上下水道事業所によると、市内は老朽化した水道管の漏水が他市町に比べて頻繁に起きるなど、特に上水道での収支悪化が著しい。事業所は、現行料金のまま、引き上げ率36～49%の四つの試算を示した。

事業所は、将来の老朽管更新などに備えるため、国が原価に上乗せして積み立てるよう指針を示している費用が、現行料金では徴収できていないことを説明。36%は31年度まで黒字運営できる最低水準の引き上げ率で積み立てはできず、49%では年間1億円程度積み立てられるとした。

24年度の市水道事業会計は、約2750万円の赤字に転落。水道料金は17年度に14%値上げして以降は据

え置いている。

会議では、21年度に委員会でき引き上げが望ましいとしながら、最終的に26年度までの料金を据え置いた経緯に触れた委員もあり、積み立てはするべきだとの方針で一致した。

(松崎晃子)